



日高山脈館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

第12号 2012.2.

これからの日高山脈ネイチャーセミナー2011

日高の冬の自然を観察しませんか。

自然科学講座 3月3日開催予定 9:00 ~ 12:00

冬季になると、日高は深い雪に覆われ、自然の姿も一変します。それと同時に、自然観察の方法も変わってしまいます。今回は、専門家の解説のもと、その冬の自然観察の方法を学習します。スノーシューを履いて、新雪のつもった森林を歩き、冬季の自然観察の方法を学習しませんか。カメラ持参をお勧めします。



場 所：9時までに日高山脈館に集合 **対 象**：高校生以上（小中学生同伴可）
定 員：20名（同伴人数も含む） **締切り**：2月29日（水）15時まで
持ち物：雪の中を歩くのに適した服装、おやつ、飲み物など

日高のいきもの テントウムシ（ナミテントウ）

いろんな模様のテントウムシも、実は...

秋になると冬籠りをするために、軒下などに集まってくるテントウムシ。いろんな模様や色があって面白いですが、ほとんどは、ナミテントウ（テントウムシ）という同じ種類のものなのです。赤地に七つの星があるナナホシテントウなどのいわゆるテントウムシは、「テントウムシ」であって「ナミテントウ」ではないという不思議な感覚になります。



いろんな模様のテントウムシ

平成23年度日高町スポーツ少年団リーダー研修会の体験活動

アンモナイトのレプリカ作りを体験

1月11日に、平成23年度日高町スポーツ少年団リーダー研修会にてレプリカづくりを行いました。

実物のアンモナイト化石の型をとり、石膏を流し込んで、レプリカを作成しました。お湯で型とり材を茹でて柔らかくする作業や、カッターで型を切る作業などいくつかの行程がありますが、リーダーの的確な指導で、良いレプリカが完成していました。また、石膏が固まるまでの時間を利用し、山脈館の見学も行ないました。日高の珍しい石や化石にも興味を示しており、とくに、偏光顕微鏡の前に集まって薄片を観察している姿が印象的でした。

夏季などでは、河原で石の標本作りなどの体験活動も対応可能ですので、今度は別の時期にも、ぜひ利用していただきたいです。

